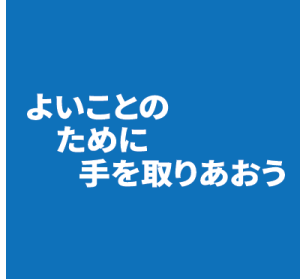


2025～2026年度
国際ロータリー会長メッセージ国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ2025～2026年度
地区基本方針

「未来へつなぐ」

RI第2650地区ガバナー
小崎 学ひかり
アズールバイヤ御影石(ブラジル)

作: 杉村 仁 会長

会 長	杉村 仁	副 会 長	佃 尚彦	副 会 長	安井 清悟	会長エレクト	井上 直治	直前会長	佐川 寛一
幹 事	加藤 又拓	会 計	木村 和弘	会場監督	丸山 佳映	理 事	井上 直治	理 事	岡崎 義幸
理 事	東山 光秀	理 事	安井 清悟	理 事	松中 隆	会報委員長	岡崎 義幸		

第27回(2574回)例会プログラム令和8年3月26日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「ロータリーって何だろう」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 会員卓話:「昨今の石油事情について」
加藤 又拓 幹事
9. 閉会宣言 点鐘

第26回(2573回)例会報告 2026. 3. 12
ソング

「四つのテスト」

来訪者紹介

安井 和美様 安井P会長ご夫人

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2573 回	21	1/1	16/20	4	81.0%
通算2571回修正	21	1/1	14/20	6	71.4%

会長の時間 (杉村会長)

寒さの折、お集まりいただき有難うございます。
先日、若狭ロータリーへ行って参りました。我が
クラブより少人数ですが、元気な例会でした。
四つのテストを毎回唱和なさっているようで、私
が関東軍に居た頃の軍人勅諭ばりの、一つ真実
かどうか、一つみんなに公平か。一つ軍人は忠
節をつくすを本分とすべしを思い出しました。

ニコニコ報告

杉村仁会長

若狭RC訪問の皆様、お疲れ様でした。何とか集団
行動できました。(ホッ)
小松会員殿お疲れさまでした。お土産話楽しみです。

佃尚彦P会長、植野洋志P会長、下村由加里会員、
東山光秀会員、木村和弘会員、丸山佳映会員
小松さん、卓話楽しみにしております。

小松玲子会員

パワポ初体験の卓話です。よろしくお願ひいたします。



会員の誕生祝



■3月生まれ■

井上 直治会員	3月16日生まれ
井久保裕也会員	3月17日生まれ
下村由加里会員	3月22日生まれ

皆様おめでとうございます！

幹事報告 (加藤幹事)

3月26日の例会卓話は「昨今の石油事情について」加藤幹事となります。



卓話

「ラオス事業(奈良東RC主催)帰国報告会」

小松 玲子 会員

改めまして、小松です。

今回は奈良東ロータリークラブ主催のラオスミッションに参加して来ましたので、その報告という事で卓話をさせていただきます。

今回奈良東さんは創立35周年の事業として、ラオスで小学校の貯水タンクの設置、流し台の設置、浄水フィルターの付いたタンクの設置、文房具等の配布です。ラオスはまだまだインフラ設備が十分でなく断水がたびたび発生するとのことで、小学校生活・衛生状況への懸念から今回貯水タンクを設置することになりました。これにより断水時でも安定した水の供給が出来るようになります。

朝7時30分ごろ関空に到着し10時発のホーチミン行の飛行機に乗りました。ホーチミンで乗り換えて、プノンペン経由でラオス・ビエンチャンに着くという経路です。

今回はホーチミンから乗ってカンボジアのプノンペンで一度降ろされました。前は乗ったままで良かったんですが、今回は一度降ろされてプノンペンの新しい空港内を歩いて、また元の飛行機に乗るという行程でした。プノンペンの空港内を結構歩いたんですが、これがすごくきれいな空港になっていてみんなびっくりしながら歩きました。

ラオスは、面積約24万キロ平方メートル、日本は約37万キロ平方メートルなんで日本より少し小さいです。人口は約766万人、首都はビエンチャン、主な言語はラオス語になります。国旗は上の方で白い丸は月を、青はメコン川を、赤は独立闘争や社会主義革命で流れた血を表しています。ビエンチャンの町には国旗だけでなく至る所に共産党の旗も一緒に掲げられていました。

通貨はキープ、計算がややこしいので、店で買うときは「ドル、ドル」というとドルに換算してドルでの支払いも可能でした。



卓話(続き)

これは通訳のトーさんです。このトーさんは元々米山留学生で和歌山のRCに来ておられました。なのでロータリーの事もよくご存じて、その上で現地でのコーディネーター手配なども全て行ってくれる方です。こういう現地でのキーパーソンとなる方がいないと、なかなか国際奉仕事業は難しいのかな、と思います。とても頼りになる方です。

今回の活動は4か所の小学校を回ったのですが、移動手段は3台のワゴン車に分乗しました。高速道路は日本とよく似た感じでとてもきれいに整備されていました。高速を降りて郊外の道になると、このような舗装されていないような道が出てきます。さらに小学校の近くへ来ると、このような細い道に入っていきます。小学校はこんな感じの平屋の建物で校庭があって、というのがよくある学校です。

これが今回設置した貯水タンクです。下の細い水色の管に水が通っています。ロータリーのマークを貼ります。校長先生と奈良東の会長さんです。これは多分、手を洗う場所ではないかと思います。水道の栓をひねると水が出て来てました。これは手洗い場です。これも奥に見えている細い水道管に繋いで蛇口から水が出て、子供たちが早速使っていました。ただ、この台は夜は盗まれる恐れがあるために校舎内に仕舞われるとの事です。これは浄水フィルター付きの飲料用のタンクです。水道水はそのまま飲むのには適さないです。常に安心な飲料水が飲めるように、今回飲料用のタンクも寄贈しました。まず機械で飲料に適したレベルになっているか計測しました。早速、子供たちが飲んでいました。ロータリーのメンバーも飲みましたが、普通に美味しくて、その後お腹を下すこともなかったです。

次は子どもたちへの支援物資の配布です。初めにみんなでセティングします。学校の方でもあらかじめ机を並べて置いてくれたり、椅子を出してくれていたりました。このように順番に取っていきやすいように並べました。子どもたちはきれいに並んで待っていてくれます。隣の幼稚園からも子どもたちが来て並びました。幼稚園の子供たちにはノートと鉛筆とおかしを配布しました。順番に渡していきます。先生が言葉は分からないのですが結構怖くて多分「こんにちわって言いなさい！ありがとうございますよ！しっかり並びなさい！」って大きな声を出されていました。子どもたちはしっかりサバーイって挨拶してありがとう(コプチャイ)と言ってくれました。小さい子たちは笑顔で、少し年上の子は照れたような顔が印象的でした。

現地の校長先生や学校の先生とバナー交換をしました。学校に飾って頂きます。今回参加クラブは、奈良東、奈良クラブ、郡山、奈良中央、奈良西です。

学校の様子です。これは教室です。大きな机に6人くらいがまとまって座っていました。掛け算の勉強をしているようです。ラオスの小学校は5年生までしかないということです。今回はビエンチャンの近郊の小学校という事もあり、割とかばんも服もきれいなものを持っている子が多かったように

思います。学校のトイレです。横の入れ物の中の水をすくって流すタイプです。トイレ横にゴミが散乱していました。物はたくさん町に入ってくるのだけれど、ごみの処理の施設や処理方法、人たちの意識(ごみはゴミ箱に捨てるなど)は、なかなか追いついていないように思います。学校の中にある売店のようなものです。お弁当ではなくここでカップ麺を買って食べる子とかもいました。ちょっと衝撃だったのは、この売店のお姉さんの子供が(4歳ぐらいかと思うのですが)出てきて、店の横でスカート上げて用を足していたんです。衛生観念というか、トイレが汚いというのもあると思うのですが、ちょっとまだこれからだな・・・という感じです。ゴミは校舎の横で燃やしてました。手作りの滑り台です

今回、4校回って貯水タンクの設置等が2校、文房具等の配布が4校でした。一人一人に直接目を見て物を渡す事で、何かしらの子供たちとの交流が生まれ、それは参加者にとってとても充実感を得る経験となりました。気になることはたくさんあって、靴を履いていない子がいたり、気温と合っていない服を着ている子がいたり(私たちは半そでなのにダウン来ている子とか)、運動場がゴミだらけとかトイレがきたな過ぎとか、私たちの生活水準とは全然違います。これから少しずつ発展していく、そのお手伝いができれば嬉しく思いました。次は少し町の様子を紹介していきます。道沿いには店が並んでいることがよくあって、これは雑貨屋さんでしょうか。郊外へ行くと建物も簡素になってきます。町の中では交通ルールはあつてないような感じでした。道路には信号がほとんどなくて、首都ビエンチャンの中心部に1.2ヶ所くらいしかなかったです。それでもクラクション鳴らすわけでもなく、あおり運転するわけでもなく、割と譲り合いながらなんとなく上手に運転していました。メコン川沿いには隣国へ電気を売るための立派な送電線が立っていました。これはタイへ通じる橋です。

ここからは観光を紹介します。2日目の事業が終わった後、夕方に気球とパラモーターに乗りに行きました。奈良東の方たちはパラモーターに皆さん挑戦されました。この状態で前に操縦する人が乗ります。後ろに



卓話(続き)

パラシュートが付いていて、走ってそのまま飛んでいきます。結構高いところまで飛んでいました。気球から撮った写真ですが、ここに写っている3機は全てパラモーターです。挑戦した方はだいぶ怖かったみたいです。気球チームです。順番に10機ほど上がったんですが、中国人の団体が「料金倍出すから順番早めろ」って交渉したらしくて、私たちの順番が後回しになってしまいました。気球もこの高さまで上がりました。時間はだいたい30分程度の遊覧でした。ちょうど夕日がきれいでした。この場所はラオスの北部で特徴的な山がとてもきれいでした。気球からの動画を少し流します。最後降りるときに下から誘導されるんですが、降りる場所がずれてしまって、茂みの中に入ったでいきました。

これは1日目と2日目に泊まったホテルです。目の前に大きなお寺がありました。ホテルの周りは飲食店や夜市があって、とても賑やかでした。最終日に泊まったホテルです。この町は韓国人に人気との事で、韓国の観光客が多かったです。前の日に乗った気球が、朝の7時くらいにも飛んでいました。ホテルの周りはきれいなホテルと民家が入り混じっている感じです。上から見てみると、庭に鶏が放してあったりする家もありました。

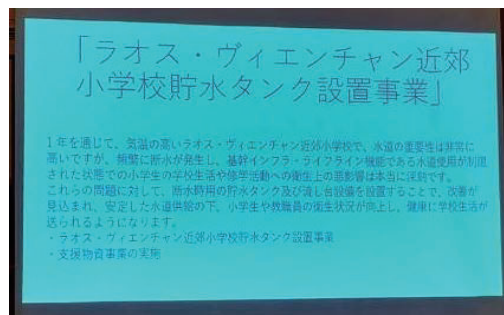
少し食事の様子も紹介します。これは有名なラオビールのタワーです。下の方にレバーがあって注ぐ形になります。あつという間になくなっていました。これはココナッツジュースです。飲んだ後、中の果肉を掻き出して食べることができます。今回は野菜多めの、ベトナムよりの料理が多かったように思います。

スープにはだいたい海苔が入っていて、川で取れる海苔だそうです。フルーツも美味しかったです。昼ご飯はこのようなカフェで食べることが多かったです。卵焼きのようなものがあったり、シーフードの入ったチャーハンなども食べやすかったです。

最終日に行ったハイキングと洞窟の入り口です。川辺には牛がいました。こういう洞窟を歩きました。中は鍾乳洞になっていました。もう一つの洞窟はとても急な階段を登った先にありました。中は大きな空洞となっていて、上の方に明かりが少しあるような場所でした。ここからは虫とか出てくるので、苦手な方は目をそらしてください。これは先ほどの洞窟が観光地だったので屋台がたくさんありました。その中の一つです。真ん中はリス、左は孵化寸前のアヒルの卵をゆでたもの、奥には大きなカエルと焼きバナナです。その横に小さなカエルと芋虫さんの串焼きです。奥はバナナの花と芋です。次、閲覧注意です。芋虫の串焼きのまだ生きてるヤツです。東南アジアではよくある昆虫食の一つでゾウムシの幼虫です。焼いているところです。焼けたら葉っぱに包んでくれました。何名かが食べてました。最後ラオスにあるラーメン屋さんで一服して、現地のスーパーでお土産、主にラオコーヒーやドライフルーツなどを購入しました。

最後に、奈良東さんの国際奉仕事業は、子供たちとの直接的な触れ合いがあり、その笑顔や輝いた目を見ることができて本当に充実感があります。ラオスの子供たちが勉強に励み、健やかな学校生活を送れる一助になれば本当に嬉しく思います。奈良東さんの国際奉仕事業は、ホテルもきれいだし、観光もあるし、とても参加しやすいと思います。ぜひ皆さんも機会があれば参加してみてください。

これで卓話を終わります。ありがとうございました。



第28回 (通算2575回)例会予告
例会日 令和8年4月2日(木)

第11回理事会

卓話:「地区大会説明会」